



パンフレットも作っています!
石川町の温泉地の魅力を情報発信!

今年は町内に点在する民宿や温泉旅館などの体験コンテンツを活かした観光事業をスタートさせたいと準備中で、高校生と行つてきました「まちづくり活動」「まちプロ」のような事業を通した人づくりにも力を入れていきたいと考えています。また町内に限らず、「SAKURAZINE」と新事業を立ち上げたい!」「自分のアイデアを実現するサポートをして!」といつた相談も大歓迎!石川町でオモシロイこと、いつしょに楽しんでいきませ

地域をもっと面白く!

「SAKURAIZEという社名が地域に少しずつ浸透し、期待しているよ」という声をいただきましたことも多くなりました。昨年12月発売のクリーミーボックスは、先行販売の2週間で6800個を売り上げ、稼ぐ力もついてきたという手ごたえがあります」という南條さん。2月には「石川の手土産といえばコレ! といえるものを」と開発された新発想の和菓子をリリースする予定です。地域の素材にこだわり、地域の人々が愛情をこめて作りあげた一品一品が地域の外で愛されることで、ふるさとに良い循環を作つていくことをめざして—SAKURAIZEの挑戦は走りだしたばかりです。



お菓子のさかいが製造、
SAKURAIZE発クリームボックス。
ふわふわ&とろとろの新食感です



発見!
石川町の
良きモノ。

A QR code located at the bottom right of the page, which links to the sakuraize.base shop.



「手打中華餐」でしか味わえない



お土産ラーメン第3弾!
濃厚な胡麻の風味、
ピリ辛ラー油のさっぱりつけ麺



地域商社SAKURAIZE®
-サクライズ- tel 0247-57-7731



[一般社団法人地域商社 SAKURAIZE] メンバー。
オフィスがあるのは石川町歴史民俗博物館<イシニクル>で、
石川町からの受託で受付・売店の運営も行う。

「地域の稼ぐ力」を 県南初の地域商社

「石川町といえば、桜、温泉、果物も美味しいし、学法石川の活躍もよく知られているところです。でも、ただ「ある」という情報だけではもう手詰まりでした。町の起死回生につながる新たな仕組みはないかと何年も考えてたどり着いたのが也哉角社という形です」。

「そう話すのは、2024年4月石川町に誕生した「一般社団法人地域商社SAKURAIZE—サクライズ—」のプロジェクトマネージャー・南條貴之さん。石川地域に新たな価値を生み出すため、観光物産協会を前身とするSAKURAIZEを立ち上げ、現在は運営責任者として活動しています。

A portrait of Kei Nanjo, the project manager of the Sakuraze project. He is a middle-aged man with dark hair, wearing a grey cardigan over a white shirt and a dark sweater. He is seated at a desk, looking slightly to his right with a thoughtful expression. His hands are clasped together on the desk in front of him.

新しい発想で「良いものを売れるものに」

SAKURAIZEは主に観光と物産を軸に、産品開発、販路開拓、情報発信、観光振興、関係人口の底上げなど、さまざまな視点から地域の課題解決をめざしています。そのなかで、まず取り組んできたのは「町の良いものを、売れるものにすること」でした。

事業者や生産者がそれぞれに高めてきた技術やアイデアに、SAKURAIZEのプロデュース力をかけあわせて新しい価値を生み出し、「石川町」という統一したメッセージを持つオリジナルブランドとして発信。お土産フレーメン、ギフト用フルーツといった開発商品は2年間で10品を超えるました。販売のチャネルも、イシニクル内売店のほか、JR各社の駅ナカ店舗やECモール出店、独自のECサイトなど拡大中です。

ミネラルたっぷり、糖度81度の
町内産の天然日本はちみつ
「ハチジュウイチド」